

第6回政府現地対策本部会議・第9回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月17日（日） 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況

(別途気象台から報告)

2 被害の状況

死者41人。

行方不明者が南阿蘇村で11人。重傷者201人。軽傷者838人。

住家被害等について、全壊400棟。半壊1262棟。

避難所数723カ所。避難者数110,816人。

南阿蘇村、西原村では避難指示を継続中。熊本市以下で避難勧告を継続して発令中。

九州関西広域連合、その他の地域の各県、政令指定都市等様々なところから多くの職員の方の支援を頂いている。

消防、警察、海上保安庁、自衛隊トータルで1,092人の救助をいただいている。

3 県等の対応状況

(総務部)

熊本市内での生活面での支援的側面での避難者の受入は、水道が回復したこともあって相当減ってきている。

(企画振興部)

バス関係で、九州産交グループと都市バスが、一部を除き通常運行になっている。

(環境生活部)

水道関係で、熊本市で一部世帯、試験的給水ということで13万5千戸分が減っている。

廃棄物処理施設関係で、故障等があり、そこら辺の対策に力を入れている。

(商工観光労働部)

現在、健福を中心に物資の手配の新しいシステムを構築中。大手の物流業者と一緒に拠点を作って避難所まで送るところを構築中。

(農林水産部)

午前中の報告事項から事柄の追加等はない。

引き続き、取組みを継続中。

(土木部)

農林水産部と同様。

(教育庁)

被害状況については、県立高校が1校、被災が増えている。

公立学校、市町村の小中学校でも少し増えている。

休校状況について、明日から以降、1週間の休校状況、確定しているもののみ出し

ている。19日以降は状況に応じて変わってくる。

県立学校の避難状況について、県立学校の避難者の方も徐々に減っている。

(県警本部)

捜索の関係で、行方不明者がいらっしゃると思われる南阿蘇の方に部隊1,800名を投入して捜索にあたっているが、現在のところ発見にはいたっていない。

県外からの支援物資などが熊本市内に届くようになって、九州自動車道、植木インターで優先すべき車両を選別して、植木インターから降ろしている。それから、降りてから、国道3号線について、下り方向が円滑にながれるように信号の整理を柔軟にやっていて、今、概ね、下り方面は円滑に流れている。

(九州電力)

14時現在、71万9千戸が停電。全力を挙げて復旧に取り組んでいる。阿蘇市、高森町、南阿蘇村、山都町の一部を除いて、本日中の復旧を目指している。益城町の方も本日の復旧を目指している。

なお、阿蘇市、高森町、南阿蘇村、山都町の一部については、送電線周辺で大規模な土砂崩れがあり、鉄塔の使用が不可能となっている。現在、全国の電力会社から、既に78名、17台の発電機車を派遣していただき、順次、電力供給を行っている。今後も、さらに合計で255名と56台の発電機車を派遣して頂くこととしている。

(LPガス)

本日調査したところ、阿蘇市、高森町、南阿蘇村、西原村、御船町、嘉島町、益城町、こちら被害がひどかったところは、詳細なところがはっきりしていないが、他の地域については、全域ほぼ100%復旧しており、割合的には、およそ95%が県内で復旧している状況。

(健康福祉部) ※海上保安庁の後に説明

災害時保健師派遣について、県と厚労省を中心に各県の方から県・市チーム、医師、薬剤師など、早いところでは、本日から現地に入っらっしゃって、5日間ほどローテーションで支援していただくことになっている。県、厚労省、市町村と連携し被災地の避難所におけるケア等についてきめ細かく対応していきたい。

#### 4 国等の対応状況

(内閣府)

本日、午前中の11時半から、第7回目の政府の方での非常災害対策本部を、総理、官房長官出席のもと開催している。夕方、18時30分から、第8回を開催する。

(消防庁)

消防の活動については、約560隊、2,000名の規模で活動を行っている。南阿蘇村の北部・南部、熊本市の北部・南部、益城町と西原村において、引き続きローラー作戦を展開していきたい。

(自衛隊)

約2万名の態勢で人命救助、生活支援、物資輸送支援等を行っている。ヘリについても約70機の態勢で即応態勢を実施しつつ、物資輸送等を行っている。

(警察庁)

他県からの増援について、女性警察官について、九州各県から合計20名の特別派遣を行うこととしている。任務については、被災地の避難所を訪問しての各種相談業務、防犯指導等の避難者のケアを行っている。

また、全国からの救援物資について、鳥栖に集積して、九州自動車道を使って各避難所等に輸送するというふうになっている。そのため、高速道、一般道について、渋滞を回避するため、福岡県警、熊本県警と調整し、パトカー等による誘導によって速やかに輸送するというのを準備している。

(気象台)

明日の天気の見通しについて、熊本県南部を中心に午前中により雨。雨量は5ミリ未満を見込んでいる。

余震回数は、震度1以上が15時現在で444回と少し増えた。余震への警戒をお願いしたい。

(国土交通省)

関係機関と連携して対応して参りたい。

(海上保安庁)

熊本港で巡視船2隻による給水、携帯電話等への充電、炊き出し等を行っている。八代港で入浴等の支援を行っている。

航空機については、4機、即応待機しているが、本日の15時頃、南阿蘇においてビニールハウス内で3名の避難者がおり、そのうち1名が負傷しているとの情報を受けて現場で確認を行ったところ、発見には至らず、その後、通報者により連絡がとれ、確認がとれている。

(警察庁)

ガソリン等の不足について、福岡、八代に輸送障害があり、そこに十分な燃料はある。いかにそれを熊本の必要な所に送るかという問題になっている。タンクローリー等を優先的に入れていただく等の手配をしていただければ、かなりスムーズに行くのではないかと。今、県と調整しており、緊急を要するものについてのリストアップをしてもらっている。その辺とうまくつなぎながら対応していきたい。

また、民需のガソリンについても東京の対策本部の燃料担当、熊本の石商、熊本の石商が対応できない時には福岡の石商の方で対応するといった窓口を作っているのだから、そういう声があれば私どもに言っていただければ対応したい。

コンビニの会社の方から要望があり、おにぎりやパンを十分に準備しているが、熊本の中まで送り込むのが大変な状況になっている。先ほど、交通の関係で大分緩和されたと聞いているので、今後期待していきたい。

## 5 政府現地対策本部長の発言

(松本副大臣)

皆さんお疲れ様です。日を追うごとに本部のチームワークが上がってきていると感じる。

今日は、自衛隊の第18師団長、西部方面本部長にも激励に来ていただいたところ。地震被害については、日を追うごとに亡くなられた方の数も増え、二日目には20名

を超え、本日は40名を超えてしまい、この三日間本当に悔しい思い。

こんな中、九州電力が明日中にも電力を復旧させるとしており、心から感謝。

また、食料が不足していることに対し、総理の指示により90万食を用意し熊本に向かっているところ。道路事情が悪い中、運送事業者のご尽力で、第一陣がこれから夜に着く。どこまで避難所に届けられるか、皆頑張っており感謝の気持ちでいっぱい。被害者の捜索などに当たっている自衛隊、消防、空から被害の確認をいただいている国土地理院や林野庁、道路の復旧に当たっている国土交通省など、皆さん全力で対応していただき感謝。

この三日間、県庁のマットの上で寝泊まりするなど、大変疲れているところだが、それでも引き続き全力を挙げて、頑張っていたきたい。

## 6 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

これまでの地震により、既に41名の方々の尊い人命が失われており、行方不明の方も11名おられる。14日の地震発生から65時間以上が経過しているが、引き続き人命救助を最優先に、全力を尽くしていただきたい。

被災者の方々の不安はますます大きくなっていることと思う。余震には十分警戒しつつ、被災者の支援にも全力を尽くしていただきたい。

また、現在723箇所の避難所で、約11万人の方々が避難をされている。また、水道、電気、ガスがストップした自宅においても、実質的な避難生活が3日目を迎えられ、今後は支援物資の提供やライフラインの回復など、生活支援への取組みがより重要となってくる。午前中に松本副大臣がおっしゃったとおり、国主導で食料や水、さらには紙おむつやトイレットペーパーが届けられており、感謝申し上げる。

熊本市の尽力で、明日中には水道が復旧すると聞いており、これに対しても感謝申し上げます。

自宅で難を逃れている方も含め、被災された方々の不便や不自由を少しでも軽減・解消できるよう、国と地方、行政と民間といった垣根を越え、頑張りましょう。

(以 上)